

臨床指向の医療工学を目指した 生研と他機関との連携

[医科研・分生研との間の“疾患分子工学研究連携ユニット”]
[国立国際医療研究センター研究所との連携協定]

東京大学総括プロジェクト機構 “疾患分子工学研究連携ユニット”



生研・医科学研究所・分子細胞生産学研究所を中心とする学内連携によって、研究の格段の推進を図ることを目的とし、2010年12月に設立。疾患の発現が様々なバイオ分子の相互作用によることに強固な学術的基盤を置き、その挙動観測のためのツール・数理モデル化を重視。学術的には、医学・生物学の最新知見、バイオ分子の計測・制御技術や検証のためのヒト組織といった化学・材料工学、高度計測のためのメカトロニクスや数理モデル化のための情報工学等の融合を目指す。

<http://www.biomoleng.iis.u-tokyo.ac.jp/>

(独)国立国際医療研究センター研究所との 連携・協力協定

先進的な診断・治療方法の研究開発及び先進的工学手法を取り入れた臨床医学を担う次世代の人材の育成と交流に関して、2013年3月13日に連携・協力協定を締結。両機関の研究開発能力を活かし、連携・協力することによって、我が国の学術及び医療の振興に資することを目的とする。

